

## 令和7年度 第3回学校適正配置検討委員会 会議記録（要旨）

日時 令和8年3月4日（水） 午後6時00分～午後7時30分

場所 仙北市役所角館庁舎101・102会議室

出席 出席委員13名（欠席委員5名）

### 1 開会

### 2 教育長あいさつ

### 3 委員長あいさつ

### 4 議 題

#### （1）経過報告について

～事務局説明～

- ・ 桧木内中の西明寺中への編入方式による統合について

令和8年度の桧木内中入学者数が指定校変更により0人となった。この状況を踏まえ、令和9年度に両校を統合する方向性を示し、両地区各小・中学校PTA及び桧木内地区住民説明会で概ね理解を得ることができた。

- ・ 生保内中の今後（統合・存続）に関する意向調査結果について

昨年10月以降、生保内学区意見交換会を6回開催し、様々な視点から意見を交わしてきた。2月下旬、統合に直接関わりのある令和11年度以降に中学生となる保護者を対象に意向調査を行い、結果は次のとおりとなった。

回収率	選択肢	回答率	
106 / 122世帯 86.8%	統合	21.7%	48.1%
	どちらかと言えば統合	26.4%	
	どちらかと言えば存続	19.8%	50.0%
	存続	30.2%	
		(未回答1.9%)	

委員長

桧木内中で令和8年度の入学者数がゼロとなり、良好な中学校教育を行う環境を維持するため、令和9年度に西明寺中へ編入統合するという説明会の報告。生保内中の今後に関する当事者の意向調査の結果。これらについて意見はあるか。

委員

桧木内中の令和8年度入学者がゼロとなり統合することはやむを得ないと思う。最短のスケジュールを提案してもらったと思っている。地域の方々は学校を残したかったと思うが、子どもたちのために理解してもらおうようお願いしたい。

委員

以前、生保内の方たちはあまり関心を持っていなかったと思うが、この半年でいろいろな意見が出され、保護者が子どものことを本気で考えた結果だと思う。その思いを、今後市と協力して盛り上げてい

てほしい。

委員

生徒数減少の予測から統合は仕方がないと思っていたので、生保内の意向調査結果については、単独を望む声が多いことに驚いている。

教育長

桧木内中については、生徒数の減少に伴い教育環境に影響が及ぶことを心配し、編入統合は仕方がないという感じだと思う。  
生保内中については様々な視点から議論したうえで、意向が調査結果に表れたことはよかったと思う。

## (2)学校適正配置計画(案)について

～事務局説明～

最後の調整課題となっていた中学校統合の組合せは、第1次統合で令和9年度に桧木内中を西明寺中へ編入統合し、第2次統合で令和11年度に神代中と統合する内容とした。

委員

生保内中が存続することについては、意向調査の結果を尊重したということか。

事務局

意向調査の結果は統合と存続がほぼ半々だったが、意向の度合いを加味し、またこれまでの意見交換会も踏まえ、保護者の意向を尊重して慎重に検討した。

教育長

現時点で統合するのは時期尚早であるという意見や、神代まで通学することを負担や不安に思う意見があり、そうした意見を総合的に検討した。

委員

就学指定校変更で他校へ生徒が流れていくことを懸念している。指定校変更申請の審査に当たっては、厳正に行ってほしい。

教育長

就学指定校変更は、要綱に基づいて審査会にて慎重に審査されるものである。

委員

神代、西明寺、桧木内地区では、3校統合について、生保内が統合に入るか否かに関わらず賛成だった。使用校舎も神代小を改修すれば問題はなく、この計画案で進めて行くのがベストと考える。

委員

今後の児童、生徒数の推移を見ると確実に減少することがわかる。今後10年を目処に再検討が必要である旨の文言を入れるべきではないか。

委員長	概ね10年先まで継続する計画となれば、次の検討時期を明記しなくても、2～3年前に検討を始めることは当然のことと理解してもらえるのではないか。
委員	統合を望んだ保護者も半数はいることなので、検討時期は示した方がよいのではないか。
事務局	このままの表記の方が柔軟に検討を開始できる良さもある。 なお、10年後の2～3年前には検討を開始することを、機会を捉えて発信していくこととする。
委員長	他に意見がないようなので、仙北市立小中学校適正配置計画（案）について、全員了承ということによろしいか。（全員了承）

### （３）学校適正配置計画（案）に係る意見書について

～事務局説明～

学校適正配置計画（案）に関しては、これまで12回にわたる検討会で出た意見を反映してきたところであるが、最後に形として残すため、検討委員会委員長から教育長に対し意見書を提出することとする。

（異議なし）

### （４）その他

委員長	これが最後の会となる。皆さんから思いを述べていただきたい。
委員	計画がゴールではなく、これからが大事である。決めた以上は、保護者と市が協力して進めていってほしい。
委員	角館小と白岩小の様子から、統合の効果はすぐに表れるものではなく、長い目で見ていくことが大事だと感じている。
委員	生保内中は存続となったが、校舎は古くなっているので、その対応も十分にしてほしい。
委員	統合は仕方が無いと感じている人も多いようだが、統合してよかったと言ってもらえるよう進めてほしい。
委員	地域との繋がりを大事にして、子どもたちが統合校を母校と実感できるようにしてほしい。
委員	教育長の住民の思いに寄り添った子どもファーストの進め方や丁寧

な説明があったから、計画を形にすることができたと感じている。

委員長                    子ども、保護者、住民の思いを大事にする姿勢がこの計画に反映されている。1 + 1 = 2ではなく3や4になる統合効果を期待している。

教育長                    統合準備に向けてもご協力をいただきたい。市ではコミュニティスクールを推進しており、学校と地域の関わりに力を貸していただければ幸いである。

事務局                    学校統合には正解はなく、ベストもないかもしれないが、ベターな計画にまとめることができたと感じている。ご協力に感謝し、今後はこの計画を着実に進めていく。

## 5. 閉会